

「不確実な時代」

ときどき「あの頃は良かった」など振り返ることもあります。

よく「青春」という言葉を使いますが各年代にも言葉があるんです。

青春 16歳～30代前半

新緑の時期であり、未熟さを意味しこれから勢いを増していく時期。

朱夏 30代前半～50代後半

人生の真っ盛り、独り立ちする年代と言われています。

白秋 50代後半～60代後半

人生の最も熟した時期、安定感を発揮し、自身の生き方を振り返り次の年代に繋いでいく時期だそうです。

玄冬 60代後半～。

人生の終焉に向けて悔いのない生き方をする時期（未練はあっても悔いは残さず）とも。

玄は黒という意味で暗いイメージですが「幽玄、玄人、玄風」とも言いとても深みのある言葉です。

万年青年と思っていても自分の身体は老いをしみじみと自覚する年代になり、無我夢中だった青春は叶わぬ夢としても、朱夏に留まっていたいと思っているうちに

白秋を迎え、すぐ玄冬になるのはとても早く感じました。

新型ウィルスの流行により当たり前が当たり前でなくなり、そして将来が見渡せない不確実な時代、今こそ、これまでの人生を振り返って自分史でも考えて良いかもしれません。

「こんなはずじゃなかった」と最後の時に言わなくていいように、今の年代に応じて、かつ時代に順応して元気に生きていきたいものですね。

令和2年8月

金子